

地域未利用資源を有効活用した冷水性高級魚介類を育成するバイオマス飼料の開発

代表機関：学校法人北里研究所 北里大学

実施年度：2023年度～ 2024年度（フェーズ2）

キーワード：地域未利用資源、高級魚介飼料、冷水性高級魚介類

研究代表者：森山俊介



冷水性高級魚介類を増産することを目的として地域未利用資源を飼料原料の一次素材として量産する集荷・一次加工技術、また高級魚介飼料を製造して養殖に供給することを事業とした法人設立のための市場調査を行った。

背景・目的 冷水性高級魚介類の生産力を強化する新規飼料の開発が必要

近年、東北地方の地場産業を支えるサケ・マスとアワビやウニ等の冷水性高級魚介類の漁獲量は激減の一途を辿っている。このような状況下、これら魚介類の生産力を強化するためには、栄養価が高く機能性に富む安価な新規飼料を開発し、それを有効活用することにより、効率良く魚介類を育成する養殖事業を展開する必要がある。本プロジェクトは、これまで殆ど利用されていない水産物、農作物や畜産物から生じる地域未利用資源の栄養価や機能性成分を評価し、それらが冷水性高級魚介類の生育や品質を向上させる研究成果に基づいて、地域未利用資源の集荷・一次加工システム、また、未利用資源を配合した高級魚介飼料を冷水性高級魚介類の養殖に安定供給することを事業としたベンチャー企業の設立を目指した。

研究成果 未利用資源を配合した高級魚介飼料の量産化と有効活用技術

1. 冷水性高級魚介類の飼料原料となる地域未利用資源の一次加工技術

東北地域で生産される水産物、農作物や畜産物から生じる地域未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造するために必要な未利用資源の集荷体制と効率的な乾燥・粉末化する一次加工技術の開発を図った。

2. 高級魚介飼料の製造と冷水性高級魚介類への有効活用技術

地域未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造し、本飼料の冷水性高級魚介類の生育と品質に及ぼす効果・有効性を実証し、本飼料を魚介類の養殖に安定供給する目的のシステムの構築を図った。

本研究を通して高級魚介飼料を安定供給するための地域未利用資源の集荷・一次加工品の量産化システム及び高級魚介飼料の製造と普及を業務とするベンチャー企業の設立するための市場調査を行った。



今後の展開方向 高級魚介飼料を有効活用した冷水性高級魚介類の養殖

- 水産物、農作物や畜産物の加工後に生じる未利用資源の栄養価や魚介類の生育や品質を促す機能性成分に関するデータベース、また、未利用資源の集荷と一時加工品の量産化体制を構築する。
- 地域未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造し、本飼料を有効活用することにより、健康で大型の冷水性高級魚介類を育成する養殖事業の普及を図る。
- 高級魚介飼料で育成した冷水性高級魚介類の食品としてのクオリティを科学的に評価し、消費者が求める安心かつ安全でブランド力のある魚介類の生産力を強化させる。

<代表機関概要> 学校法人北里研究所 北里大学

■HP：<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/index.html>

■所在地：神奈川県相模原市南区北里1-15-1

■連絡先：morisuke[アット]kitasato-u.ac.jp アットを@に置き換えてください。

